

第13回「文芸思潮」現代詩賞 発表

第十三回「文芸思潮」現代詩賞に日本全国および海外から多数の御応募をいただきました。まことにありがとうございます。おかげさまで三九七名、一〇〇二篇の応募とございました。厚く御礼申し上げます。

五月末に締め切らせていただきました応募作の中から、まず予選担当によって第一次予選、第二次予選、第三次予選の選考が行なわれました。それらを通過した作品を対象に、十月三十日、松尾真由美、五十嵐勉の各選考委員により、最終選考が行なわれました。厳正な審査の結果、以下の通り決定しましたので、ここに発表させていただきます。今回は残念ながら最優秀賞当選作が選出できませんでしたが、優秀賞は前回よりも多彩で内容も濃い作品群になりました。また奨励賞・佳作・入選レベルの層も厚く、生きることや世界へのそれぞれの感情が強く作品に凝結されておりました。今号には優秀賞までを発表掲載させていただきますが、奨励賞および佳作の作品の中にも読んでいただきたい作品がたくさんありますので、それらの作品も、次号の「文芸思潮」誌上にできるだけ多く掲載させていただきます。

また事情により、今回の授賞式は省略させていただきます。賞状・記念品などは直接郵送させていただきますことを深くお詫び申し上げます。

第十四回「文芸思潮」現代詩賞は、明年も今年とほぼ同じ要領で行なう予定です。どうぞ奮って御応募ください。心からお待ちしております。

「文芸思潮」現代詩賞選考委員会／文芸思潮

第13回「文芸思潮」現代詩賞

最優秀賞

該当作なし



優秀賞

「ドームの彼女」「くらいくらいくらい」
「紅い饅頭」 北森ミオ (広島県広島市)

「ソフトウェア」「早く帰れ!」「労働者たち・パート2」 柏原 宥 (埼玉県川越市)

「ぼくらの詩」「きみ以前、きみ以降」「ダサイポップソング」 天ヶ谷麗 (茨城県取手市)

「不変のローカ」「見るものだけが光の海に溶け去るように」「口紅の吐息に残る白亜の夢へ」 佐藤孝博 (千葉県市川市)

「海神の鉤爪」 花 縮砂 (神奈川県横浜市)

「墮胎」「溺死」 青木聡汰 (東京都足立区)

奨励賞

「身震いをした拍子に」「春嵐」「連鎖」
「凜」「戯れ」「ブルワ・アルバロ」 遠藤芳子 (東京都狛江市)
「踊る孔雀」「進化論または創造主の恩恵たる権利」 今井 悠 (宮城県仙台市)
「ある素粒子の描画方法について」 嘉多山棗 (大阪府大阪市)

「枇杷」「胎児」「安堵」 麻生ゆり (福岡県北九州市)
「空襲」「翅いちまい」「左手の青穹」 桐ヶ谷忍 (東京都江戸川区)

「孤独の花弁」「母の風景」「記憶の吊いの日々のうちで」 阿部静雄 (NEW-YORK USA)
「球菜」 See / Saw / Seen / 紫な行方 中村郁恵 (北海道札幌市)

「シンクロニシティ」「瞑想」 由木名緒美 (福島県会津若松市)

「核弾頭、しようがない」「ブラックの静物」 世秋恭之介 (静岡県浜松市)

「光の庭Ⅰ」「光の庭Ⅱ」「光の庭Ⅲ」 浅見龍之介 (埼玉県草加市)

「HⅡ(*アルチュール・ランボー)Ⅱへの返詩」「オーサカモナムール」 水のようにない蒼井未龍 (千葉県浦安市)

佳作

「テロップ・右端」「アナワイラキシンシヨック」
 「竹林」 小林 結
 「みち」 関根裕治
 「アンダルシアの欠片」 後藤 順
 「虚空、日暮れ、仙人掌」 つるはげ
 「空き地から秘密の星座へ」 高橋朋央
 「ぎりぎりライダー」 「カベヌケ」 「幻の
 おーい」 「並べてみたら」 「あなたへ」 藤原ジュン
 「悪の華 善悪のセコンド」 「インナーチャイルド病める茨薔薇」 高橋実里
 「根を張る愛の種子」 「真夜中の戦争」 「光」 西條由美子
 「母」 「ひまわり」 「容赦」 keisei
 「水」 「蝙蝠」 「憧れ」 まるこうさぎ
 「思考の翼」 「魂のブラウス」 遊月飛鳥
 「糸物語」 「やみはひらく」 いしぜきけいこ
 「隕石の記憶」 「小石の思想」 「石棺」 辻本 瞬
 「歩く人」 「死ぬにはいい月」 「夜の音」 辻武比古
 郷原慶子

「失墜の白濁」 「暗黒の華」 「鉄砲の音域」
 「基軸」 「長い坂道を」 大山日文
 「風と鳥」 「夕やけ」 「街灯」 織月景
 「夜の病 魚たち」 「ロシナンテは走らない」 「空の軌みから呼んでみたい気がする」 はるた
 「心臓」 「海」 「露」 日野笙子
 「雑草」 「リミット」 行待文哉
 「遙遠」 「夢をみていた」 「滅び」 徳永江梨子
 「夕陽に顔面」 「妻の夫」 「ふあんしーあいらんど」 インバ
 「ヒマラヤにふる雨」 「ゆきがふる」 渡辺八聲
 「たそがれ」 珠望
 「直交座標系の防徨」 嶋ひろし
 「ひとりであること」 「Fを想う」 「詩人宣言」 タナカジュリ
 「茨」 「送別」 「思い出の中で会いましょう」 てづかなこ
 「母の合わせ絵」 「赤い風船」 五十月彩
 「愛・運命・風説」 「アネモネ順不同」 「麦わら帽子のうた」 「麦わら」 西島 颯

180

入選

「灰色の墮天使」 「純の踏破」 「自戒(非対称)」
 「定めの無価値」 「木彫りの人形」 「銀色の水が僕を
 侵食する」 獅子谷雪
 「蟲」 「舟」 「風船の行き先」 真田真子
 「母は言った」 恵
 「時への感覚」 「息を切らさずに」 「逝く姿」 寒川靖子
 「切れ長の目」 横井純子
 「吹き矢とジョークと皆殺しの仮面」 「有刺鉄線と紅い季節」 金泉碧
 「一つのふめいの時代」 「散策ひとつ」 北村灰色
 「無限墓場」 福島敏真
 「水鏡」 「リストカット」 「登校」 福島敏真
 「秋風の処女」 青瀬勇魚
 「昔話」 「夢景色」 「カーテン」 伊勢谷翔
 「秋の夜」 「畢生」 「金魚」 山岡真緒
 「遺体ホテル」 「五月の午睡」 「森」 飯塚彩夏
 「僕の血潮は海」 「月と人工衛星」 「それでも僕は」 池山弘徳
 「パパは目が見えないんだよ」 「ジャスミン」 「始まり」 中川旭洋
 「向かう先」 「道なき道の道標」 「慟哭」 中川旭洋
 「ささくれ」 「なんじゃらもんじゃら」 「『のに』ちゃん」 中原夕莉
 いまだまりこ